



39

ひめこじま
姫小島と水門



DATA・BOARD 39

- ①神奈川県横浜市金沢区洲崎町3番地
- ②面積：800㎡
- ③水門、広場、照明灯
- ④白御影石、伊豆石、ヒノキ材ほか

横浜市金沢区の洲崎地区の海岸には、かつて浅瀬が続き多くの入り江があったが、江戸時代から始まった埋め立てにより新田となり、島を利用した汐除堤が築かれ、島と堤の間に水門が設けられた。その後、島と水門は昭和三十年代の造成工事によって撤去されたが、地域の埋め立て事業の歴史的物証として意義のあるものであり、走川プロムナード整備事業の一環として「姫小島と水門」の復元が行われた。

整備にあたっては、現存していた伊豆石の二本の水門柱を利用し、残る二本については御影石を用いて新たにつくり、水門の脇には説明板を設置し、沿革や水門の構造を解説している。整備部分は姫小島街庭と呼ばれる道路敷であるため、川をイメージした歩道と広場を設置した。